

# 羅臼町幼小中高の教育 診断編

幼稚園・小学校・中学校・高校の令和2年度の取り組み



## 令和2年度 羅臼幼稚園の教育

【診断編】

教育目標～ 心身ともに健やかで、心豊かでたくましく生きる子どもの育成

・げんきな子 ・やさしい子 ・がんばる子

今年度研究主題 幼児の主体的な遊びや活動を支える保育者の役割

保護者運営評価の結果と今年度の取り組みに照らし合わせた

### 幼児の主体性を支える

- ・ 幼児の興味・関心に沿った遊びや、幼児の思いが実現できるような遊びが展開される環境の工夫。
- ・ 友達と関わる中で互いの思いや考えを共有し、協同して活動することの楽しさが味わえるような経験の充実。

#### 保護者アンケート

- ・ 子どもの興味・関心・意欲を高めるよう、子どもの気持ちを大切にしている
- ・ 子どもをよく理解し、がんばりを評価し、認めてくれている



幼児が周囲の環境に関わる中で感じたり、気付いたり、分かたり、できるようになったりする知識・技能等の基礎

### 遊びの中で学びに向かう力を育む

- ・ 幼児が夢中になって遊ぶ姿から、何を感じ、何を学んでいるかを理解し、学びの過程を大切にしている。
- ・ 自分の思いや考えを表現し、伝え合ったり考えを出し合ったり、協力したりして自らの考えを広げ深める。

#### 保護者アンケート

- ・ 園での生活や遊びの中で様々な体験をし、考えたり、学びを深めている。
- ・ 教育目標 がんばる子～物事に進んで取り組み、ねばり強くやりぬく子に向かって育てている。



気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする思考力・判断力・表現力等の基礎

### 温かい人間関係を育む

- ・ 地域の人に親しみを感じたり、人のかかわりを楽しんだりする幼児の育成。
- ・ 地元の産業に興味・関心をもち、自分達の住んでいる羅臼の環境を守ろうとする気持ちを育む。

#### 保護者アンケート

- ・ 羅臼の海や産業に興味・関心をもったり、体験を豊かにする活動に力を入れている。
- ・ 教育目標 やさしい子～情操豊かで、友達に親切にすることができる子に向かって育てている。



心情・意欲・態度が育つ中で、より良い生活を営もうとする学びに向かう力、人間性等

# 豆まき会

2月2日（火）羅臼・春松両幼稚園で、「豆まき会」が行われました。今年の節分は、124年ぶりとなる2月2日となりました。いつもは、2月3日に行われていたものでなんとなく違和感を感じてしまいます。

節分は、各季節の始まりの日（立春・立夏・立秋・立冬）の前日のことです。節分は1年に4回あることとなります。江戸時代以降は、特に立春の（毎年2月4日頃）の前日を指す場合が多いそうです。

羅臼・春松両幼稚園では、豆まきの歌を歌い、先生の節分のお話を聞いてから豆まきの準備をして始めました。

羅臼幼稚園では赤鬼が、春松幼稚園では緑鬼が現れたようでした。「鬼は、外」と大きな声を出して、豆を投げつけていたようです。また、「がんばったけど、怖かったよ。」との声も聞かれました。

鬼の恐ろしさに泣き出してしまう子もいました。そんなお友達をやさしく慰めてあげるお友達もいたようです。

子ども達は自分の心の中の悪い鬼をやっつけようと、怖いけれども我慢して鬼を退治していたようです。

鬼退治をしてからは、みんなで記念写真を撮って、豆まき会は終わりました。



羅臼幼稚園



羅臼幼稚園



羅臼幼稚園



春松幼稚園



春松幼稚園



春松幼稚園



# 令和2年度 春松幼稚園の教育 【診断編】

今年度も12月に保護者運営評価、職員評価を行い、今年度の取り組みの項目から抜粋しました。保護者評価では全体的に高い評価を頂きました。今後の取り組みと合わせまとめてみました。

## 「出会い」「つながり」「広がり」

- 一人一人の幼児の体験を理解
- 体験を共有、共感
- 興味や関心を追求できるような環境構成と援助
- 学びを更に深めたり、発展させたりできるような環境構成と援助



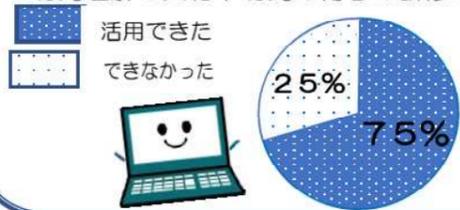
項目：『子どもは、園での生活や遊びの中で、様々な体験をし、考えたり、学んでいる。』



同じ場で遊んでいても、一人一人が楽しんでいること、興味をもっていることが違うことに改めて目を向けることができた。一人一人の体験がその後の深い学びにつながっていくことを教師間で確認ができた。今後は、対話の中で深まる学びとして、対話を意識した取組や研修を深めていきたい。

## 教育 ICT 活用

- ICT 機器を使い、その日の遊びの場面の写真や映像を幼児たちが一緒に観ながら遊びを振り返り、新たな気付きや意欲につながるようにしていく。また、生活の中で幼児が深く知りたいと思ったことを調べたり、興味、関心がより高められるよう活用していく。
- 幼児理解の共有や幼児の育ちの研修の際に、ICT を活用し職員研修を深めていく。



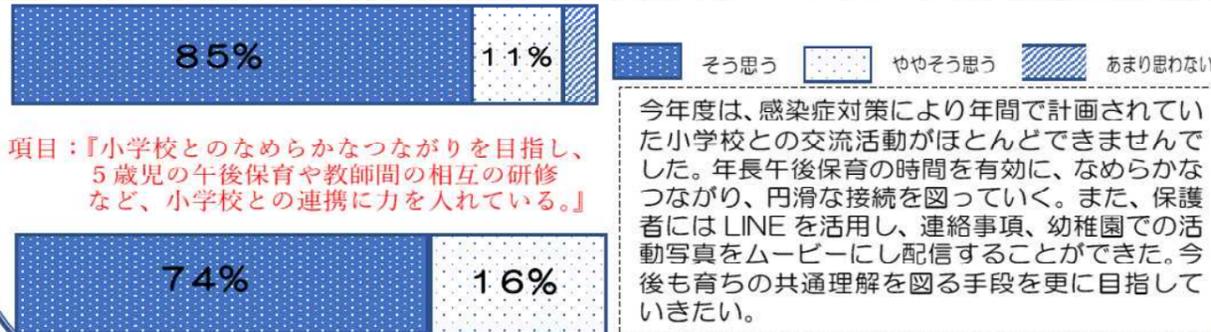
こちらの結果は、職員評価です。教師自身が ICT 機器を活用し、保育に生かされたか？という質問に対してのもので。今後も、どのように活用していくのがよいのか？保育の幅を広げる手段として活用の仕方を探っていきたい。

## 家庭・小学校・地域との連携

- 保護者の視点で考え、開かれた園を目指す。
- 海洋教育の活動を含め、幼児の活動をブログ、ドキュメンテーション等様々な形で情報発信していく。
- 幼児期の教育を通して身に付けたことを生かしながら小学校以降の学びに繋がるように円滑な接続を図っていく。



項目：『園での子どもの様子や育ちを連絡帳やお便り、きらめきムービー、ブログなどで知ることができる。』



項目：『小学校とのなめらかなつながりを目指し、5歳児の午後保育や教師間の相互の研修など、小学校との連携に力を入れている。』



今年度は、感染症対策により年間で計画されていた小学校との交流活動がほとんどできませんでした。年長午後保育の時間を有効に、なめらかなつながり、円滑な接続を図っていく。また、保護者には LINE を活用し、連絡事項、幼稚園での活動写真をムービーにし配信することができた。今後も育ちの共通理解を図る手段を更に目指していきたい。

# 令和2年度 羅臼小学校の教育 【診断編】

学校の教育目標

ふるさと羅臼を愛し、未来を担う、  
人として豊かな心と確かな力を身につけた児童の育成

## 今年度の重点

「繋がり」を生かし子どもの成長が「実感」できる丁寧な教育を目指す

## 1 今年度の重点的な取組について

### (1) 学力向上に関する取組について

標準学力検査や全国学力・学習状況調査の結果から、学力が定着してきたことがわかります。一方で結果を詳細に見ると、問題の意味を正確に読み取り条件に合った形で解答をすることができておらず、理由や説明を記述する問題で正答率が低い傾向が見られました。

このことから、基礎・基本の学習内容のこれまで以上の定着と、それを活用し課題解決に向かうことが本校児童の課題であると考えます。そのために、1単位時間の指導過程の中で問題練習の時間を確実にとり、たくさん問題を解けるようにすることや、相手の話の意図を正確に聞き取ったり読み取ったりすることを大切に授業を行うための授業改善を進めます。

### (2) 主体的に行動する児童の育成に向けた取組について

自分で考え自分から行動することのできる児童を育てることを目標に学校の教育活動全体で取り組んできました。学校評価アンケートでは、児童 93.7%、保護者 77.2%、教職員 100%が、この目標を達成できていると捉えている結果になりました。また、6年生ができなかった運動会の代わりに全校リレー大会を企画・運営したり、総合的な学習の時間で学んだ環境やふるさとについての学習を生かし地域のゴミ拾いをしたりするなど、日常的に自分で考え行動する様子がたくさん見られるようになりました。今後も自ら考え進んで行動する姿が見られるように、また最後まで諦めずにやり抜く力を育てられるように繰り返し指導します。

### ○標準学力テストの結果から

(全国平均より、3ポイント以上◎、同等○、3ポイント以下△)

国語	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
今年度	◎	○	○	○	△
昨年度	○	○	◎	△	△

算数	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
今年度	◎	○	○	○	△
昨年度	○	○	◎	△	△

### ○全国学力学習状況調査の結果から(6年生)

(全国平均より、5ポイント以上◎、同等○、5ポイント以下△)

	国語	算数
今年度	◎	○
昨年度	△	△

今年度の全国学力・学習状況調査は、全国の平均が出ていないため昨年度の平均と比較しています。

### ○学校評価アンケートの結果から

(「主体的に行動する児童」に関する評価)

	主体的な行動		最後までやりぬく力	
	7月	12月	7月	12月
児童	—	93.7	82.5	89.4
保護者	—	77.2	74.5	79.6
教職員	—	100.0	84.6	93.8

※主体的な行動にかかわる項目のアンケートは、令和2年12月から実施しました。

## 2 今後重点的に取り組むこと

### (1) 今年度の標準学力テストの結果より向上するよう自ら学ぶ児童を育てます。

学習内容が定着し点数として現れるようにするために、自分ができることやできないことを見つめ、何をどうすればより学習内容が身に付くのか、学習の方法を学んでいけるように指導していきます。

### (2) 主体的に行動できる児童・粘り強く物事に取り組む児童を育てます。

失敗を支え、挑戦をしていることを認め、一人ひとりが自分で考え対話をしながら行動していける力を高めます。

### (3) いじめのない学校作りに取り組めます。

子どもたち自らが、いかなる場合もいじめは絶対に許されないものであるという考えをもち、自分たちでいじめが起こらないように考えて行動ができるようにします。また様々な場面で色々な人との対話を通して考えることで、思いやりの心を育てます。

